

# 2020年3月期決算 および 今後の事業展開について

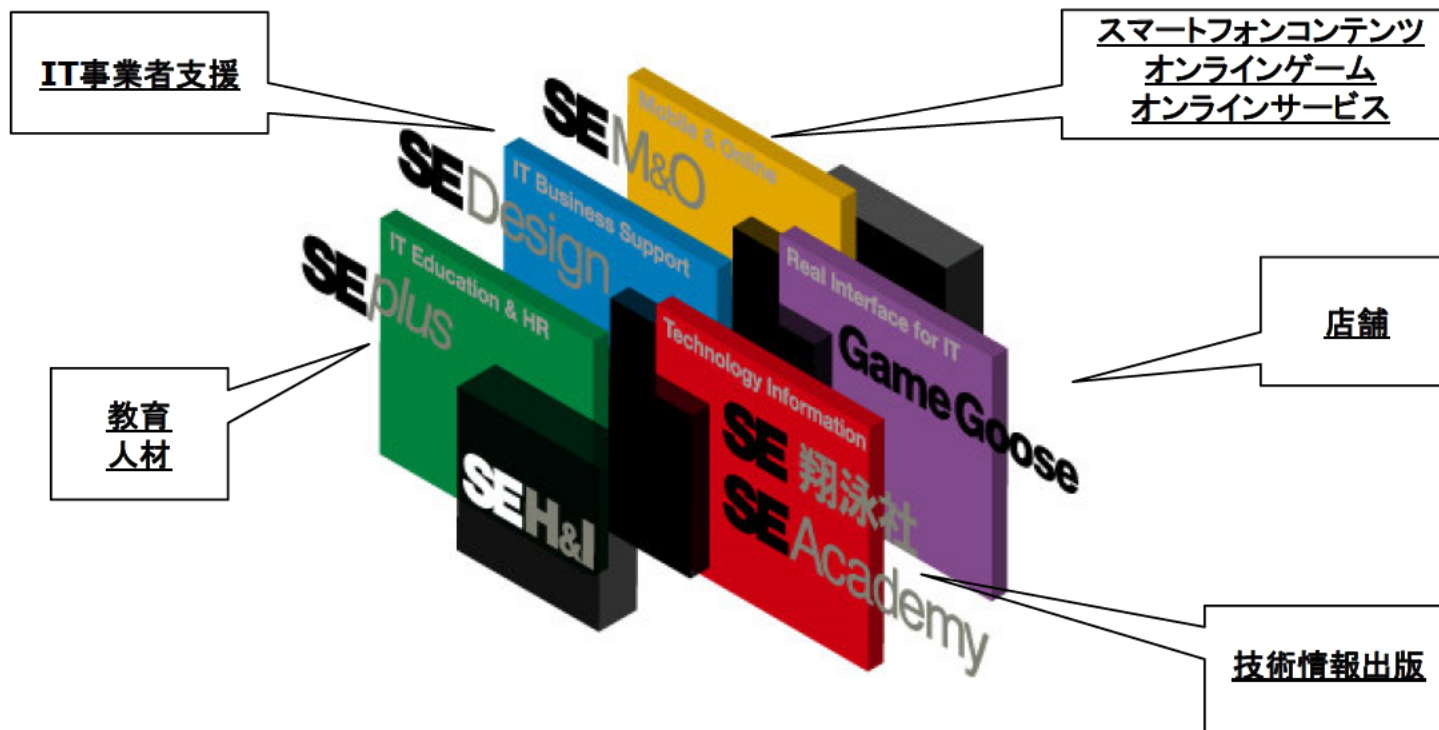
---

2020年5月  
SEホールディングス・アンド・インキュベーションズ株式会社



# 当社グループについて

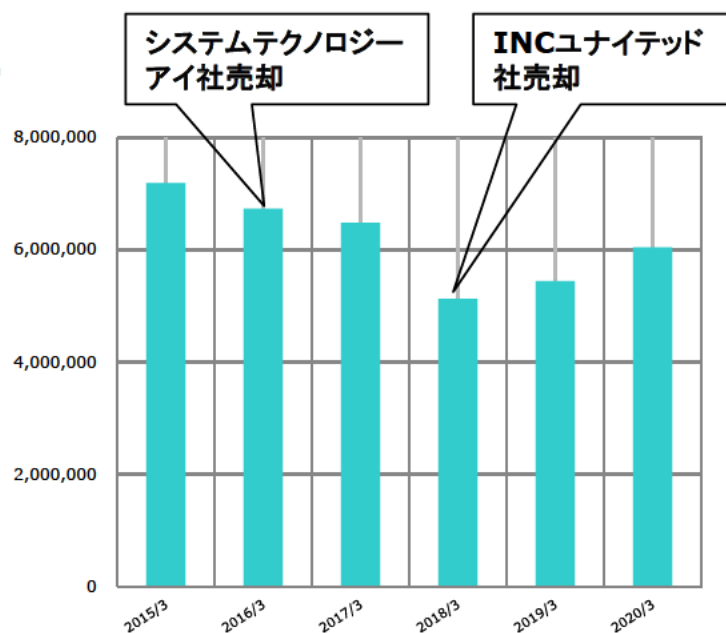
## 最適化された事業構成を目指すIT関連事業を中心とした企業集団



※GameGoose業績は継続性の観点からセグメント上はソフトウェア・ネットワークに分類されています。  
※上記会社以外に、投資運用業務に特化したSEインベストメント株式会社(子会社)があります。

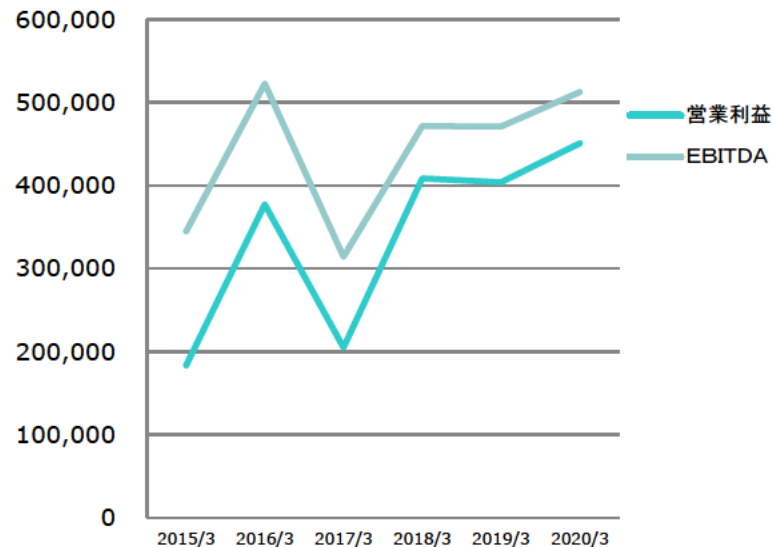
# 当社グループについて

## 売上高



## 営業利益およびEBITDA

EBITDA=営業利益+減価償却(のれん除く)



## 不採算事業を売却し利益率向上、財務体質も強化 新規事業投資により利益成長フェーズへ

※2021/3期業績予想は、新型コロナウイルス感染症の業績へ与える影響に不確定要素が多いことから合理的に算定が困難であり、未定としております。



---

## 2020年3月期決算について



# 2020年3月期決算概要

---

**期初の重点課題：中長期にわたる一層の成長のために**

- 1. 新規収益基盤の創出**
- 2. 将来に向けた事業会社各社の成長基盤構築・整備**
- 3. 赤字事業会社の再建**
- 4. 事業会社経営人材の拡充と育成**

## **<概況>**

- ①グループ全体では、既存事業が好調で、新規事業投資負担・株式評価損負担を吸収し、期初計画を上回る売上・収益計上を実現**
- ②出版事業が好調、教育・人材事業も順調**
- ③コーポレートサービス事業の業績回復が加速**
- ④ソフトウェア・ネットワーク事業は、不採算事業整理**

# 連結損益計算書

(単位:百万円、%)

	2020/3連結	2019/3連結	前期比(%)
売上高	6,038	5,441	+11.0
売上総利益	2,747	2,472	+11.2
販管費	2,297	2,068	+11.1
営業利益	450	403	+11.6
経常利益	442	372	+18.7
特別利益	23	27	△13.5
特別損失	60	19	+213.6
親会社株主に帰属する当期純利益	206	255	△19.0
※包括利益	△50	182	△232

# 事業セグメント別損益(出版事業)

## IT関連書籍出版等

---

	2020/3 連結	2019/3 連結
売上	<b>3,722</b>	3,309
セグメント 利益	<b>692</b>	524

- 書籍の店頭・オンライン販売、Webメディア、イベント、電子書籍などの主要事業が前期に引き続き好調さを維持・拡大



## 事業セグメント別損益(コーポレートサービス事業) IT関連企業向マーケティング・プロダクト関連支援

---

	2020/3 連結	2019/3 連結
売上	<b>901</b>	717
セグメント 利益	<b>66</b>	24

- **新規先からの売上増加、組織再編によるマーケティング体制強化により、大幅増収増益**
- **マネジメント人材育成の成果**



## 事業セグメント別損益(ソフトウェア・ネットワーク事業)

ソフトウェア開発、コンテンツ開発・提供、ゲーム施設運営等

---

	2020/3 連結	2019/3 連結
売上	<b>731</b>	821
セグメント 利益	<b>△105</b>	13

- **新規事業立ち上げのための先行投資負担大**
- **第3四半期に不採算事業を整理**

# 事業セグメント別損益(教育・人材事業)

IT技術者教育、医療・介護系人材紹介

---

	2020/3 連結	2019/3 連結
売上	<b>566</b>	492
セグメント 利益	<b>72</b>	51

- IT技術者研修事業、医療・介護系人材紹介事業共に順調に推移し、増収増益



## 事業セグメント別損益（投資運用事業）

### 有価証券投資、不動産投資

---

	2020/3 連結	2019/3 連結
売上	<b>116</b>	100
セグメント 利益	<b>11</b>	62

- 投資額増加に伴いベースの運用収入が増加
- 期末に新型コロナウイルス感染拡大による市場大幅下落で約60百万円株式評価損計上

# 連結資産・負債の状況

(単位:百万円)

勘定科目	2020/3連結	2019/3連結	比較増減	主な要因
流動資産	6,287	6,171	+116	現金及び預金+131、その他流動資産+53、受取手形及び売掛金△44
固定資産	2,251	2,318	△66	投資有価証券△52、建物及び構築物(純額)△21
資産合計	8,539	8,489	+49	
流動負債	2,772	2,682	+89	その他流動負債+102、買掛金+45、1年内償還予定の社債△70
固定負債	1,203	1,201	+2	長期借入金+80、社債△75
負債合計	3,975	3,884	+91	
純資産合計	4,563	4,605	△41	利益剰余金+175、自己株式処分+46、その他有価証券評価差額金△257
(自己株式)	(△207)	(△253)		
有利子負債	2,293	2,329	△35	



# 2021年3月期通期連結業績予想

---

**新型コロナウイルス感染拡大が連結業績予想に与える影響に不確定要素が多いことから、合理的に算定することが困難であり、未定としております。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。**



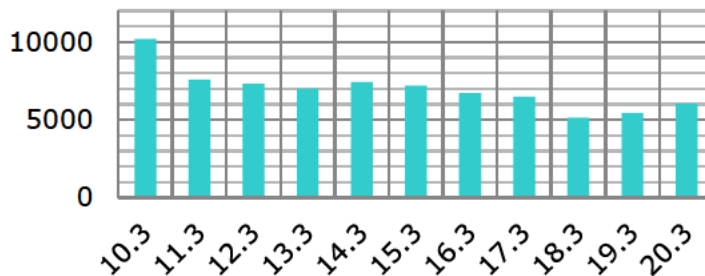
---

# 今後の事業展開について

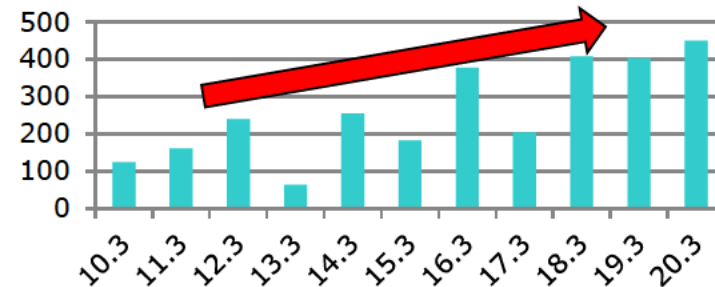
この10年間で保有事業の最適化により安定した利益成長を実現。さらなる利益成長と成長率UPへ投資を加速

**新規事業拡充による利益成長へ向けて投資を積極化**

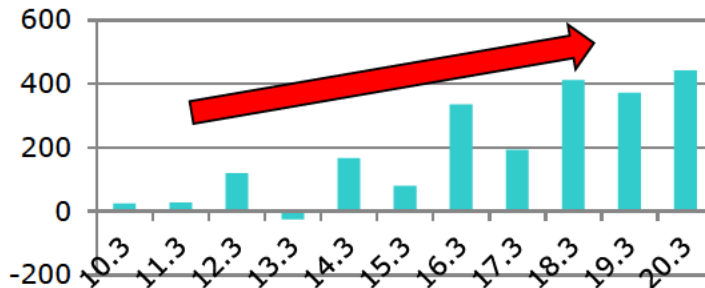
売上高



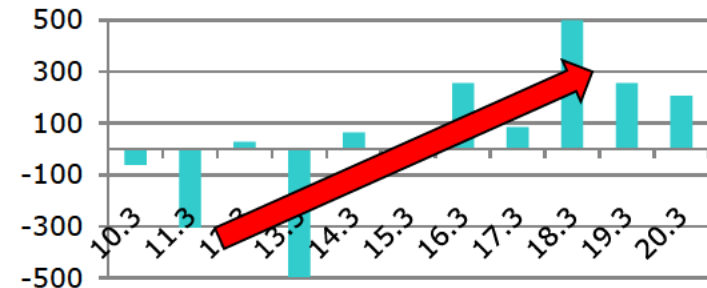
営業利益



経常利益



当期純利益



# 中長期の成長へ向けて

---

## 中長期成長へのポイント

デジタルコンテンツ・オンラインサービス・定額サービスを拡大





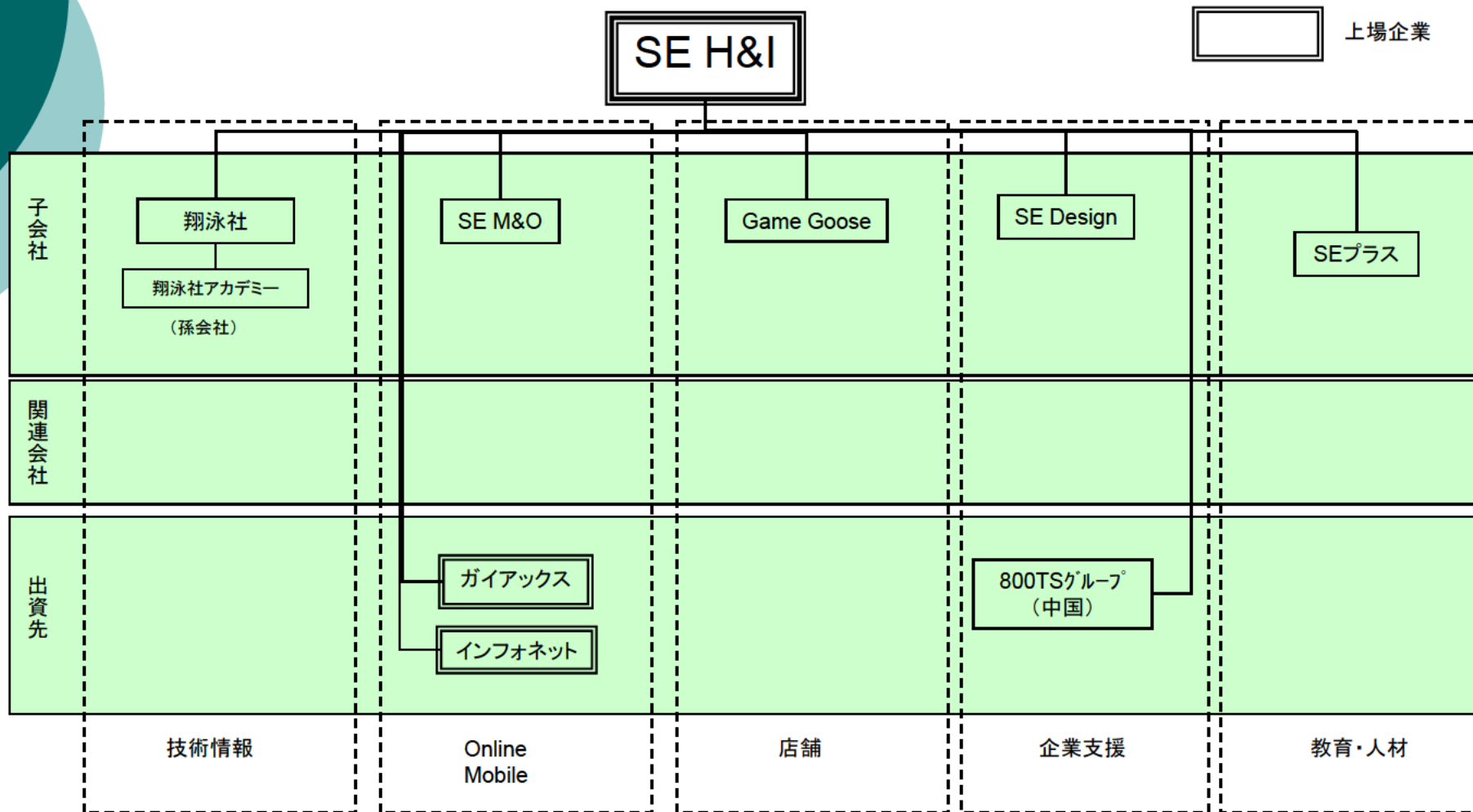


# 新型コロナウイルス感染症拡大状況への取組み

---

1. **リモートワークやテレワークの活用と常態化**
  - 現環境下では既に事業会社の80%程度をリモートで対応
2. **当社グループの強みである非接触、オンラインベースの収益基盤の一層の拡大**
  - Webメディアや電子書籍
  - ECベースでの書籍販売
  - オンライン研修やオンライン婚活サイトなどのオンラインサービス
  - スマートフォンの月額コンテンツや研修の定額サービス
  - オンラインマーケティング支援

# SE Holdings&Incubations




(注) 上記以外に、投資運用事業に特化したSEインベストメント(子会社)があります。



# 総括

---

- **最適な企業構成によりグループの成長を目指す**
- **2020年3月期は期初計画を上回る業績**
- **出版事業が引続き好調。教育・人材事業も順調。コーポレートサービス事業は回復**
- **中長期成長へオンラインサービス、定額サービスなどの拡大を図る**
- **新型コロナウイルス感染症拡大状況への対応を進める**



---

ご不明な点、追加のご質問等は下記までご連絡ください。

SEホールディングス・アンド・インキュベーションズ株式会社  
経営企画部経営企画課  
03-5362-3700  
ir@sehi.co.jp

- 本資料は、情報提供のみを目的としたもので、その他一切の目的を意図して作成したものではありません。本資料の情報は当社が信頼できると判断した情報源から入手したものです。その情報の正確性、完全性を全面的に保証したものではありません。また、本資料に記載された見解や予測等は、作成時点における当社の判断であり、今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。